

新連載!

Horse Talk

もっと知ろう、馬のこと

第1回 「初騎乗でギャロップ」私の馬ライフの原点

馬の楽しみは、乗ることだけではありません。
ともに時間を過ごし、世話をする。
馬のことをよりよく理解し、馬への思いを仲間と語り合う。
本連載では、馬について楽しく語り合うための
さまざまなテーマを取りあげます。
海外外乗で役立つ「ウマ英語」の解説も
適宜入れていく予定です。お楽しみに。

文・写真=田中雅文（フリーダム・ライディング・クラブ）

PROFILE 田中雅文（たなか・まさふみ）

通訳・翻訳、英語教育、国際会議運営に20年携わり43歳で引退。「海外乗馬を通じ世界の文化を知る」フリーダム・ライディング・クラブ（FRC）の活動を開始。以来25年にわたり、「乗り方は自由、舞台は世界」をモットーに世界各地への馬の旅を続けている。国内では八ヶ岳南麓・山梨県小淵沢町で、外乗とエンデュランスを中心とした「FRC小淵沢」を運営。1951年、東京都出身。本誌編集顧問。



ただ必死にタテガミにしがみ付くだけ

私は現在、海外乗馬ツアー同好会「フリーダム・ライディング・クラブ（FRC）」の主宰者として海外乗馬ツアーを年に数回企画し、FRCのメンバーとともに世界各地への馬旅を楽しんでいます。

国内では八ヶ岳南麓の小淵沢町（山梨県北杜市）で、外乗とエンデュランス専門の乗馬施設「FRC小淵沢」を運営しています。小淵沢は東京からわずか2時間の距離にありながら、美しい景観と豊かな自然が残るリゾート地で、「馬のまち」としても知られています。

ここ小淵沢は、私の馬ライフの原点といえる場所です。

今から45年前、私が23歳の時のことです。アメリカ人の馬乗りの友人から、「日本で馬に乗りたい」という相談を受けました。私はそれまで乗馬経験が一切なく、今のようにな乗馬クラブもなかったもので、「日本では、そう簡単には馬に乘れないよ」という回答ですませていました。しかし、「それなら、馬に乘れるところに連れて行ってあげましょう」という親切な人が出てきて、案内された場所が小淵沢だったのです。

当時の小淵沢は道も舗装されておらず、今のようないリゾート地になる前なのでペンションや別荘は、ほとんど建っていま

せんでした。乗馬施設としては、「小淵沢乗馬学校」と「ユーカリ牧場」のふたつがあるだけだったように記憶しています。山梨県馬術競技場は、まだできていませんでした。

私と友人は、「ユーカリ牧場」に案内されました。現在、「カナディアンキャンブ八ヶ岳」がある場所です。

私たちを出迎えてくれたのは、牧場の男性ガイドでした。おそらく彼は、「このアメリカ人ゲストについてきた日本人の若造は、乗馬経験がないのか……ならば、からかってやろう」とでも思ったのでしょう。私たちは馬に乗って牧場を出発し、標高1200m～1400mに位置する防火帯に向かいました。

防火帯とは、防災上設けられた帯状の地帯で、延焼を食い止めるために樹木がきれいに伐採されています。しかもこの防火帯は、八ヶ岳に向かって真っすぐの急坂が続き、振り向けば南アルプスの雄大な姿。視界が開けていて開放感があり、四季折々の絶景を楽しむには絶好のポイントです。現在は、八ヶ岳エンデュランス大会やトレイルランニングのコースの一部にもなっています。

牧場を出発してから20分ほどで、防火帯に到着しました。すると、ガイドの男性はにやりと笑い、「行くぞ!」というや、いきなり八ヶ岳に向かって馬をギャロップで走らせ始めたのです。

友人と私が乗った馬も、ガイドの馬を追いかけて猛然と走り出します。乗馬経験ゼロだった私はどうしていいのかも分からず、アブミに立って腰を浮かせ、タテガミに必死にしがみ付くだけでした。景色がどんどん後方に流れ、風を切る音がしたのを覚えています。

距離にしてわずか300～400mだったでしょうが、ガイドの馬が止まると私たちの馬も止まりました。馬の習性として、前の馬が走れば追いかけて走る、止まれば止まります。ただそれだけのことだったのですが、私はまんまと勘違いしました。

「すごい! 俺って、馬に乘れるじゃん!!」

この勘違いと感動が、その後の私の人生を決めたのです。

“遊び心”あるガイドとは小淵沢のあの人物

この初騎乗は、強烈な体験として記憶に刻まれました。美しい大自然の中で馬を走らせるという爽快感を知ってしまった私は、乗馬クラブの柵の中でレッスンを受ける気にはなれず、外乗のできる場所を探してあちこち出かけるようになりました。海外まで足をのぼすようになり、FRCの設立へとつながっていきます。

ちなみに、私たちを案内してくれた“遊び心あふれる”男性ガイドというのは、田中茂光さんです。彼はのちに独立し、同



雄大な景観が楽しめるハケ岳南麓の防火帯。

じ小淵沢に乗馬クラブ「ラングレーランチ」を立ち上げました。田中さんは、日本のウエスタン乗馬界のボスとして活躍しながら、映画やテレビドラマの撮影に馬を提供する仕事も始めました。現在は、息子の田中光法さんが立派に跡を継ぎ、NHKの大河ドラマや時代劇映画に欠かせない存在になっています。

その後、私はエンデュランスライダーになりましたが、馬場内で正統派のレッスンを受けたことがほとんどないため、馬場の中で馬に複雑な運動をさせたり、高い障害物を飛び越えたりすることは今も苦手です。

私は、馬でなければ行けない場所、馬で行ったほうがより楽しい場所に行くために、馬に乗ります。

馬は美しく賢い動物です。付き合えば付き合うほど、その存在に畏敬の念さえ覚えるようになります。馬についてよく知り、馬に関するいろいろなことを楽しく語り合いましょう。

INFORMATION

FRC小淵沢の裸馬騎乗会&クリニック

当連載著者・田中雅文さんの裸馬レッスン、野外騎乗やエンデュランスについてのクリニックが好評開催中です。ハケ岳南麓の外乗もあわせてお楽しみください。

[ADD] 山梨県北杜市小淵沢町10101
FUJII STABLE内

[E-mail] frc.kobuchizawa@gmail.com

[URL] www.frckobuchizawa.com

[Facebook] www.facebook.com/frckobuchizawa

防火帯から南アルプスを望むFRCのエンデュランス馬SKY号と、マネージャーでトレイルガイドの塚本真由美（2016年度エンデュランスチャンピオン）。中央にそびえるのは、甲斐駒ヶ岳。

